

＜ビデオカメラ＞

かんたん接続マニュアル

USB ハードディスクに対応しているビデオカメラと接続すると、録画データの保存先として本製品を使用することができます。

- ※ 詳しい手順は、ビデオカメラに付属の取扱説明書を参照してください。
- ※ 本紙に記載のイラストや画面は例です。お使いの機種によって異なることがあります。

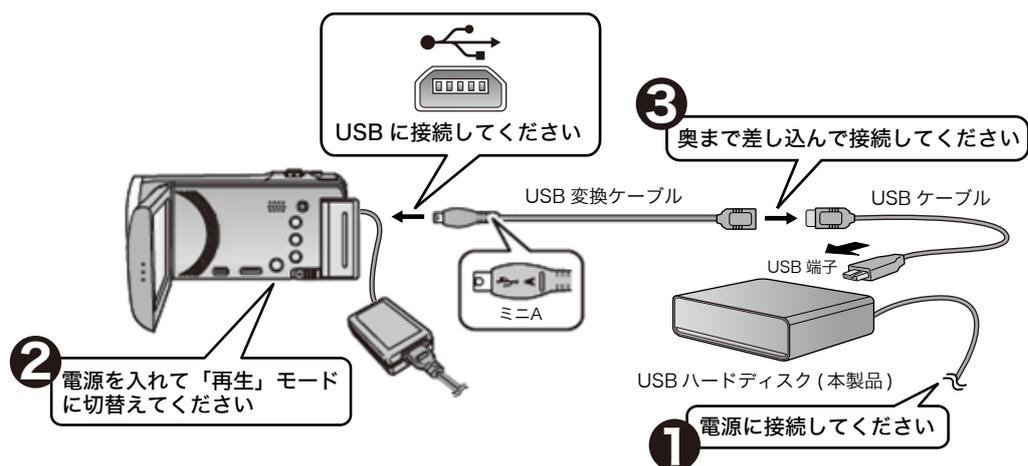
ご注意

- 推奨のビデオカメラ以外と接続すると、フォーマットを促すメッセージが表示される場合があります。フォーマットをすると、USB ハードディスクに記録された動画 / 静止画がすべて消去されます。大事なデータが消去されても元に戻すことはできませんのでフォーマットしないでください。
以下の場合、ビデオカメラと接続して本製品を使用することはできません。
 - ・ハードディスクのフォーマット形式が FAT32 以外のとき
 - ・ハードディスクをパーティションで 2 つ以上にしているとき
 - ・USB ハブを使って接続しているとき
- 本製品を他の機器でご使用後に、初めてビデオカメラに接続するとき、保存されているデータは全て消去されます。本製品に保存されているデータがある場合は、パソコンなどにバックアップしてください。
- ハードディスクは、恒久的な保存場所ではありません。
ハードディスクは非常に精密な機器で、お使いの環境や使用状況によっては数年で寿命となることがあります。寿命となると、本製品への保存はもちろん、保存した録画データの再生も行えなくなります。大切なデータは、Blu-ray や DVD などにも保存することをお勧めします。
- 本製品の動作中に、電源プラグをコンセントから抜いたり、電源プラグを接続している電源タップのスイッチを「切」にしたり、停電など（雷などによる瞬間的な停電も含む）が起こると、本製品が故障したり、本製品に保存した内容が消失・破損することがあります。また、コピー中だった場合、そのデータは保存されません。
- 本製品の修理をご依頼いただいた場合、修理内容によっては、製品を交換する場合またはディスクをフォーマットする場合などがございます。この場合、保存されているデータは全て消去いたします。また、当社は当該データの破損消失などにつき、一切の責任を負いません。

1 接続する

<Panasonic 製ビデオカメラの例>

- ① USB ハードディスクを電源に接続します。
- ② ビデオカメラの電源を入れて「再生」モードに切替えます。
- ③ ビデオカメラと USB ハードディスクを、USB ケーブルと USB 変換ケーブル (共に本製品に付属) で接続します。



2 メディアフォーマットする 初回のみ

本製品を初めてビデオカメラでお使いの場合は、まずビデオカメラで「メディアフォーマット」をしてください。

- ① 本製品と USB ハードディスクを接続して、「HDD の再生」を選択します。
- ② ビデオカメラのセットアップから、「HDD のメディアフォーマット」を選択します。
- ③ フォーマット完了後、「終了」を選択して閉じます。

※フォーマットはビデオカメラと USB ハードディスクを接続して行ってください。
パソコンなど他の機器でフォーマットすると使用できなくなる場合があります。

※メディアフォーマットの詳細設定や、コピー / 再生方法はビデオカメラ本体取扱説明書をご覧ください。

<ビデオカメラ>から取り外す

●ビデオカメラの電源が「切」の状態の場合は、いつでも取り外すことができます。

●ビデオカメラの電源が「入」の状態での取り外す場合

- ① ビデオカメラのハードディスク 取り外し操作を行います。
- ② ビデオカメラの表示に従って USB ケーブルを抜きます。

※本製品にデータをコピーしているときなど、誤って取り外すと、データの破損や本製品の故障の原因になります。ご注意ください。